

2022年8月19日（金）

老球の細道684号

名コーチとの出会い「世界のコーチ、トステイン・ロイブル」①

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今までのコーチ人生において多くの名コーチから影響を受けてきたが、その中でも最も強烈だったのはドイツ人コーチ、トステイン・ロイブル氏である。言葉はスムーズに通じなかったが、彼のバスケットボールに対する姿勢、次から次へと繰り出す独創的なドリルの嵐は、それまでの私の指導に革命的刺激を与えてくれたと言っても過言ではないだろう。

まだ20歳代の若い頃に日独コーチ交換事業で埼玉にやって来て、大宮北高校を拠点に全国でカテゴリーを問わずクリニックを行った。会津でもコロナ禍になる前には毎年の恒例行事だった。

彼はその後実力と才能を認められて日本のプロチームを指導して、その指導力をいかに発揮した。ある時期、Bリーグの前身である日本リーグ「トヨタ」のヘッドコーチを務め、全日本選手権決勝で「オーエスジー」と対戦し優勝したことがある。テレビで放映されたが、驚いたことにオーエスジーのヘッドコーチが中村和雄氏、主審が宇田川貴生氏、解説者が池内泰明氏（拓殖大監督）と皆私の知人であり、世にも不思議な巡り合わせとなった。

近年では東京五輪を前にした日本バスケットボール協会の機構改革やユース世代の指導、そして東京五輪では男女「3×3」の監督に就任して日本チームの活躍に尽力してくれた。東京五輪後はBリーグのどこかのチームにヘッドコーチとして就任するものと思っていたが、その予想は大幅に外れ、今はチェコバスケットボール協会ユースチームとコーチの育成指導の責任者に就任して活動している。目標はチェコをヨーロッパ選手権で優勝させることだという。また、FIBA（国際バスケットボール連盟）のコーチディベロッパーを務め、世界中でコーチクリニックを行っている。まさに世界のトステインになった。

現在は常時日本に來れないのでトステインクリニックを会津で受講することができない。しかし、トステインと彼を囲む日本の同志達で「ユーロバスケットボール・アカデミー」を立ち上げ、オンラインでトステインのクリニックを開催してくれている。今まで3回私も受講しているが、あいかわらず内容の濃い価値のあるクリニックである。東京五輪にも出場したチェコ代表のコーチの話や練習動画なども一緒に見聞できるのでお得感満載である。

人生は出会いの連続である。特にバスケットボールを通して出会った人たちには多くの喜び、刺激、人生訓を与えてもらった。その中でトステイン氏と出会えたことは私のコーチ人生後半期のすばらしい宝物になった。そもそもこの出会いを得たきっかけは埼玉県大宮北高校監督の佐藤光壺氏との出会いがあったからである。佐藤氏との出会いがなければトステイン氏との出会いもなかった。

出会いは出会いを生む。人生を変える出会いを得るには思い切った行動をしなければならない。現状維持で自分の狭い世界で生きている限り、人生に影響を与える出会いを経験することはできない。今後名コーチとの出会いシリーズ第3弾を書いてみたい。〈続く〉